

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育指導課子ども安全支援室長 吉崎 朗	電話番号	0852-22-6842
----------	---------------------	------	--------------

事務事業の名称	悩みの相談事業
目的	(1) 対象 児童生徒、保護者及び教員 (2) 意図 悩み、心配事等の心の問題の負担を軽減する。
事業概要	いじめや不登校などの問題に対して、未然防止や早期発見・対応のため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、子どもと親の相談員の配置をはじめとする教育相談体制の充実を図る。

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	公立小・中・高校及び県立学校の不登校児童生徒のうち、学校内・外で専門的な指導を受けていない児童生徒の割合	目標値		15.0	14.2	13.4	12.7	%
	式・定義	公立小・中・高校及び県立学校の不登校児童生徒のうち、学校内・外で専門的な指導を受けていない児童生徒の割合	実績値	21.4					
			達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名		目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	161,044	175,734
うち一般財源 (千円)	117,117	127,576

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○平成27年度のスクールカウンセラーの相談件数は9,764件（H26:10,306件）、教員へのコンサルテーションなど相談以外の活動件数は9,850件（H26:10,227件）。保護者からの相談件数が増加傾向にある。
 ○スクールソーシャルワーカーの相談件数は691件（H26:683件）、総時間数は8,840時間（H26:9,093時間）。
 ○子どもと親の相談員は昨年度同様25校に配置。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

スクールソーシャルワーカーがかかわった継続支援対象児童生徒における相談案件691件のうち解決または好転した件数が236件あった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
 ○スクールカウンセラーについては、未配置校もあり（小学校205校中124校が未配置）、配置時間についても多くしてほしいとの声がある一方、1人で何校も掛け持ちをしている状況もある。

②困っている状況が発生している「原因」
 ○スクールカウンセラーは臨床心理士等の有資格者でなければならず、県内でこの任にあたることのできる人材が足りない状況にある。

③原因を解消するための「課題」
 ○有資格者等の掘り起しに向けて、関係機関との連携強化が課題

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むかの考え方）

○スクールカウンセラー活用事業連絡協議会の開催等を通じて、関係機関との連携をこれまで以上に強化し、臨床心理士等の有資格者の掘り起しを行っていく必要がある。

9. 追加評価（任意記載）

H27実績値は、H28.10公表